

2年学年だより

大淀中学校 2年 平成29年6月15日 第12号

o(職場体験報告会

14日(水)6限、多目的室において、職場体験報告会が行われました。班別に班長が代表となって、体験内容を発表しました。班別に作成したポスターを映像で映し出して(白石先生作成)、代表が発表しました。

最初と最後の挨拶は、班員全員の大きな声で行えましたか。班長は、大きな声ではっきりと聞こえるように発表できましたか。

『職場体験感想文集』の中にも、多くの方が触れていますが、「挨拶」は社会生活を営むうえで、欠かせないものです。大切にしなければならないものです。それ故、各家庭でも学校でも「挨拶」を奨励し指導しているのです。

今から7300日後には、みなさんはこの日本の社会の中堅として、社会を支え家族を支えて生きていかなければなりません。20年後と考えると随分先のように思われますが、7300日後と考えると近い将来であることが実感されますね。

今は「力」をつけるときです。鍛える時代です。「心」を練り、「頭」を鍛え、「体」を鍛えるときです。自らを光として生きてほしいと願います。幸せに暮らしてほしいと願っています。

今回の職場体験の巡回の中で、普段とは違う君らの姿を見ることができました。20年後の不安が少し薄まりました。それとともに、君らの可能性も新たに感じられました。

「自分で自分をあきらめるなよ!子供たち!!」
「自信とは、自らを信じると書く」

いざという時に、頼りにできる自分を、日々の生活の中で、作り上げてくださいね。

報告会当日、お忙しい中、5つの事業所の方、多数の保護者の参観をいただきました。

ありがとうございました。

(-_-)/職場体験リハーサルの時に

集合・整列から委員長会が中心になって実行してくれました。

委員長会代表の内田くんも大きな声を張り上げて、みんなを整列させていました。

彼は体も大きいし、声も大きい。彼の甲高い声が耳に刺さったのか、最前列の男子生徒がムツとした表情で、文句を言った。

それが内田くんの耳に入った。険悪な空気が周辺に広がる。間髪入れず声かけをする。それ以上剣呑な空気が広がることなく、予定通りリハーサルは進行した。

リーダーはやる気をもって、事にあたる。周りの人は、リーダーに協力する。意見は積極的に述べるべきだが、個人的な不満は時と場所を考えて述べるのが大切ではないか。

そんなことを、職場体験リハーサル時に感じた。そのことをかの男子生徒にも話をした。彼はしっかりと理解してくれたと信じている。

(*~*)職業選択① 井上先生の場合

中学生の頃を振り返ると、同級生はもちろんですが、学校の先生のことよく思い出されます。本当に多くのことを教わりました。時には先生のことばに背中を押され、時には厳しく叱られることもありましたが、当時は何とも思わなかったことを、卒業してから痛感することも度々ありました。

こうして先生方と関わったことを思い出して、学校の先生になりたいという意志を固めたのは、大学生の時です。かつての恩師のように自分もひとりの先生として、働きたいと自然に思えたのです。

そして、初めての勤務校が大淀中学校になりました。1年目の私にとって、中学生の皆さんと同じく毎日が勉強の日々です。来年の3月まであっという間に過ぎてしまうような予感がします。良い1年だったと言えるように、頑張りたいと思っています。